

新年明けましておめでとうございます。

ブラジルは夏の盛り、強い日射しと青い空、湖面に緑が映えるブラジリアで、私は駐ブラジル大使としての初めてののお正月を迎えました。

今年の干支の酉（とり）は騒がしい年と言われますが、窓辺に来る色鮮やかな小鳥たちのさえずりが、新年の到来を告げているようです。

さて、去年は、世界各地で不満や対立が表面化し激動の1年でした。ブラジルでもリオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピックの成功の陰で、大統領の交代、汚職捜査の進展、経済状況の悪化など、大きな動きがありました。

そのような中でも、日本とブラジルとの関係は、歴史的な深い絆を基礎に、安倍総理大臣のオリンピック閉会式参加（アベ・マリオ）、テメル大統領の日本公式訪問（10月）といった首脳相互訪問を初めとして、幅広い分野で交流が進みました。

今年は、世界の多くの国々で指導者が交代し、不透明感の高い年になると言われています。そのような中、日本では、国の平和と繁栄を守るため、安倍総理大臣を先頭に、国内で様々な改革を進めるとともに、地球儀を俯瞰する積極的な外交が行われています。また、ブラジルにおいても、「新しいブラジル」に向けての歴史的な挑戦が続けられており、今年はその正念場となります。現在進められている改

革努力が実を結び、ブラジルが再び輝き始めることを期待したいと思います。

そうした中、2017年は、日本とブラジルとの「戦略的グローバル・パートナーシップ」を一層前進させる好機であると考えています。本年5月には、世界に先駆けて「ジャパン・ハウス」がサンパウロに開設されます。また、今年は来年の日本人ブラジル移住110周年に向かう大切な年でもあります。

今年も、皆様と力を合わせて、日伯関係をさらに拡大し発展させていきたいと考えていますので、宜しくお願い致します。

平成29年元旦

ブラジル駐劄日本国特命全権大使

佐藤 悟